

★ほしぞら新聞★



★秋の四辺形をさがそう！

秋の星空は明るい星が少なく、季節と同じようにどこかさびしい感じがしますが古代エチオピア物語の登場人物が星座になっていますのでさがしてみよう。秋の星座をさがす目じるしは「秋の四辺形」とよばれる四角形です。この四角形はペガスス座とアンドロメダ座が作る星のならびで、天馬ペガサスの上半身になります。

<物語にでてくる星座>
★ペガスス座 ★アンドロメダ座 ★ペルセウス座
★カシオペア座 ★ケフェウス座 ★じら座

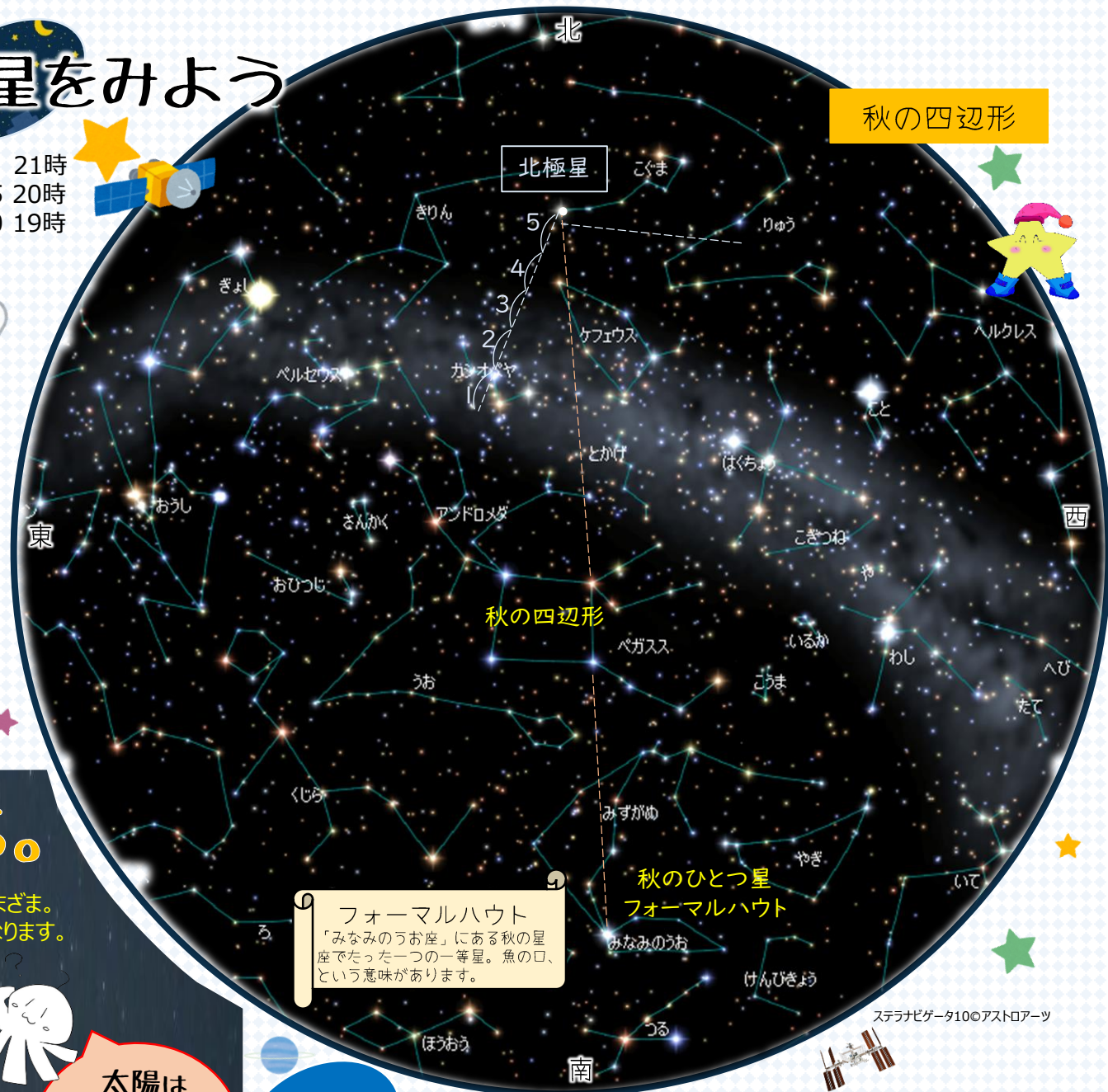
<物語>
古代エチオピア王妃(おうい)カシオペアと、王ケフェウスの間にはとても美しいアンドロメダ姫がいます。カシオペア王妃は美しいわが娘(むすめ)をいろんな人や神様にじまんしていました。ある時、海の王ポセイドンの美しい娘よりもわがアンドロメダの方がとても美しい、と話していたところを聞かれこれにおこったポセイドンは海に物くじら(カメ)を放しました。かい物くじらは毎日あばれるので、エチオピアは、あらしや高い波になやまされることになりました。このさわざしをうけたら、アンドロメダ姫をいけにえとしてかい物くじらに差し出すことだ、と言われケフェウス王はやむなくアンドロメダ姫を海岸の岩にくくりつけました。かい物くじらがかしおペア姫におそいかかろうとしたときに、勇者ペルセウスがちょうど戦いを終えて天馬ペガサスに乗って通りかかり、アンドロメダ姫を救出しました。

勇者ペルセウスはアンドロメダと結んできて幸せになりました。ケフェウス王は、カシオペア王妃に反省をさせ、とイスから立つことをゆるさず、また休むこともならぬと天界を回り続けることになったそう。そう、カシオペア座は地平線の下にしまわなくなり、北極星を中心に休まずまわっています。

<さがしかた>
秋の四辺形には一等星はありませんが形がととのった四角形なので見つけやすいです。9月ごろだと東を向いて立ち、顔をすこしあげてみると見つけられます。11月だと頭の真上にあるので、秋の四辺形からいろいろな星座をみつけてみましょう。

★星をみよう

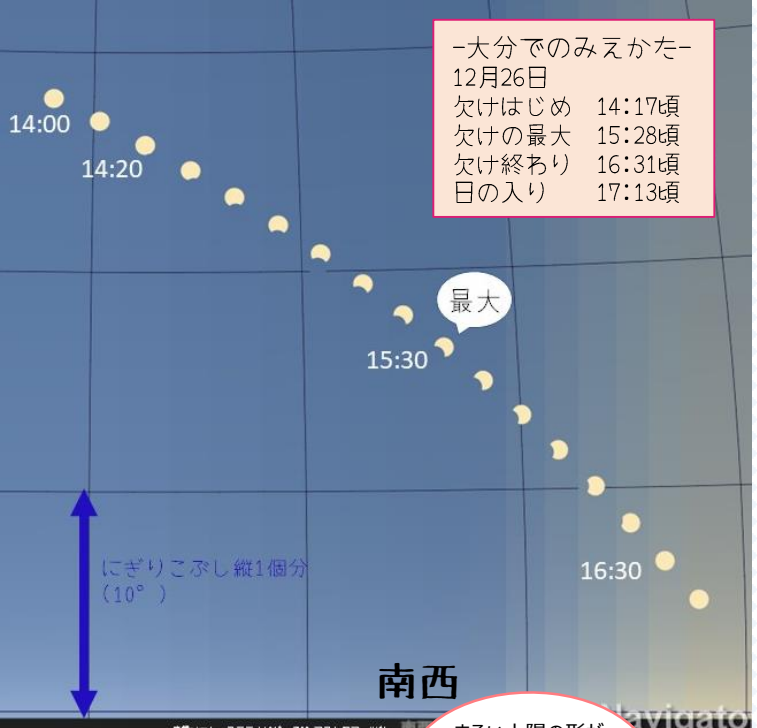
11/1 21時
11/15 20時
11/30 19時



秋の四辺形

フォーマルハウト
「みなみのうお座」にある秋の星座でたった一つの一等星。魚の口、という意味があります。

★12月26日は部分日食を観察しよう！★



今年二度目となる部分日食を観察しよう！冬休みに入った12月26日の午後2時から欠け始め、一番大きく欠ける時間は大分では3時半ごろになるよ。ただし太陽を直に目で見ないこと！しっかり守って目を大事にしよう。

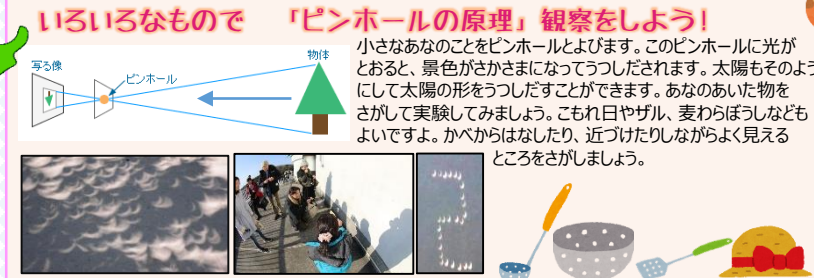
安全な観察方法！

太陽からはまぶしい光だけでなく、目をいためてしまう光の仲間も出ています。それらはガラスなどもすりぬけて目のおくにとどくため、まぶしくなくてもサングラスや黒いじき、スズのついたガラスなどで太陽を見ることはできません。みじかなもので太陽を見ていい物はありません。きちんとした「太陽しや光板」「日食グラス」「太陽観察シート」などの太陽を見るためにつくりだされている道具を使いましょう。

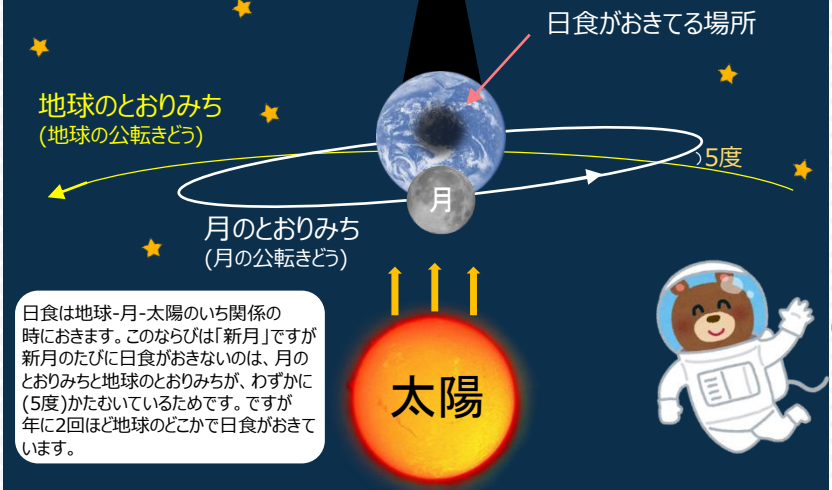


日食観察会
12月26日
午後2時～4時半
海星館観測室

つくってみよう！「ピンホールカード」
用意するもの 画用紙 画びょう えんぴつ
画用紙にえんぴつで文字やかんたんな絵をかきます。書いた線にそって画びょうをあなを開けていきます。指をささないように気を付けましょう。ある人はパンチなどで型ぬきをして、カラーセロハンをテープではるとかわいいカードに仕上がります。大きさをちがうあなをあけてみて！



クイズ 太陽の欠けている部分には何がかけられているでしょう？



新月	上弦	満月	下弦	新月
9 上げん 6日	10 上げん 6日	11 上げん 4日	12 上げん 4日	
満月 14日	満月 14日	満月 12日	満月 12日	
下げん 22日	下げん 21日	下げん 20日	下げん 19日	
新月 29日	新月 28日	新月 27日	新月 26日	

★星の色、いろいろ。

星をじっくり、見てみましょう明るさもさまざまですが、色もさまざま。これから冬になると、いろいろな色の星が見つけられるようになります。



恒星の色 温度が高いと青白く、低いと赤く見えるんだよ。

星座を形作る星や太陽のように、自分で光る星のことを「恒星」とよびます。恒星の色は温度によってちがいがちがあります。年老いた星は大きくふくらむので温度が下がって赤く見えます。

秋のひとつ星「フォーマルハウト」の表面温度は8400度くらいで、白く見えます。太陽よりも温度が高い星なんですね！冬の一等星は青白色の「シリウス」、太陽のようなうすい黄色の「カペラ」、温度が低く赤くなっている「ベテルギウス」などともカラフル。そらが鏡や望遠鏡などの道具を使うと、色がみやすいので活用してみよう！大人のひとにっしよに観察することを守ってね！

惑星の色 わく星をつくるガスや地表、大気の成分の色が見えているよ。

わく星は太陽の光を反射して明るく見えている星で自分では光らない星です。木星や土星、そしてこの地球もわく星。地面の色やわく星をおおっている大気やガスの成分で青や茶色のように見えています。海王星はメタン化合物がこおって青く見えてるんだって！きれいだね！

太陽の色は何色？とよく「赤!!!」と元気よくかえてきます。でもちょっと待って!もし太陽が本当に赤色ならば、わたしたちの世界は赤色にみえるはず。常に夕焼けのような光が届いているはず。そう、太陽は赤ではないのですね。いろいろな色の光がまざりあって太陽の色になっています。少し黄色い白いろが太陽の色です。いろいろな色はにじをおもいうかべてみて。にじの色をすべて合わせると白いろになります。赤青緑3つの光だけ足しても白になります。実験してみようね！

★青空をみよう！

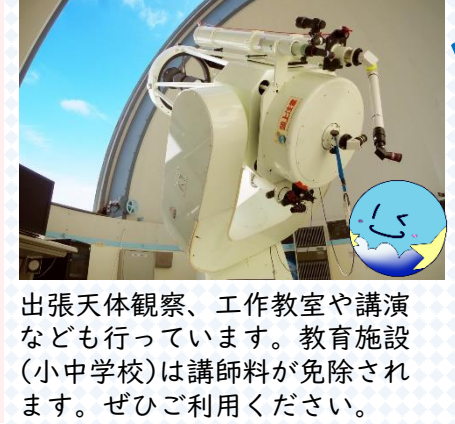
秋や冬でも見られやすい太陽の光と大気のショーだよ。天気が悪くなる前がチャンス！

環天頂アーチ かんてんちょうあーく(さかさじ)



太陽をじかに見ないこと!!!
手や建物で太陽をかくそう

幻日 げんじつ(にせものたいよう)



屋は太陽観察★夜は天体観察
月水木 10時～18時 太陽観察16時まで
金土日祝日10時～22時
火 休館日
入館無料/天体観察有料(中学生以下無料)

出張天体観察、工作室や講演なども行っています。教育施設(小中学校)は講師料が免除されます。ぜひご利用ください。

大分市生涯学習施設
関崎海星館

- 10月11日 後の名月観望会
 - 11月4日 上げんの月をみよう
 - 12月6日 月のクレーターをみよう
 - 12月14日 ふたご座流星群観望会
 - 12月21日・22日 部分日食観察講座・工作
 - 12月26日 部分日食観察会
 - 12月28日 お正月かざり作り挑戦!(工作)
 - 1月1日 初日の出観望会
 - 1月4日 運試し!しぶんぎ座流星群
- くわくは、海星館ホームページへ。

【薄明】日がくると早く夜が長くなります。その分星が見える時間もはやくなります。しかし太陽が真っ暗になりません。空には太陽の光が残っているからです。この時間帯を「薄明(はくめい)」とよんでいます。